

京都・地域企業宣言1周年！

昨年発表された「京都・地域企業宣言」からちょうど1周年を迎えた9月10日（火），京都信用金庫本店にて今年度第2回目の未来力会議を開催しました！当日は，御応募いただいた12件のアイデアを約120名の参加者の皆様に御提案いただきました。



第1部 アイデア提案者からのプレゼンと参加者全員による議論

御応募いただいた13件のアイデアのうち，欠席者を除く12件について，アイデアを考えた背景や概要を発表いただきました。発表後には，アイデアごとに関心のあるテーブルに集まり，アイデアの詳細の共有をはじめ，具体化に向けた活発な議論が行われました。



アイデア概要



①Open Edutainment Lab. (オープン エデュテイメント ラボ)

株式会社OpEL. 倉橋 克彦

小学生をメインターゲットにした創造性を養うための探求学習塾を構築する。STEAM教育(科学, 技術, 工学, 芸術, 数学)を軸として, 京都のモノ作りと, そこに関わる文化的背景や科学技術を楽しみながら学ぶことで, これからの未来を創造するために必要な0から1を産み出すための自由な創造性を引き出し, 自分の好きなこと, 興味のあることを発見し, 自ら「問い・考え・行動する」ことを目的とする。



②「企業物語」と人が出逢うストーリーコンテンツプラットフォーム「京都〇〇物語」

大原社会保険労務士法人 和田 紘子

求人企業と就職希望者を結ぶ人材採用サイトを構築する。求人企業は, 「企業物語」(創業・商品開発・社員物語等社風が伝わるエピソード)を掲載でき, 社風との「共感・共鳴」で就職希望者とのマッチングを図るサービスである。人材採用サイトでありながら, 「企業物語」のコンテンツプラットフォームでもある。
※「京都〇〇物語」=サービス名, 名称は公募予定



③C-Cocktail (仮称) ~共創型地域企業人財育成研修~

京都信用金庫 企業成長推進部 大谷 洋平, 中川 治己

地域企業間の異業種従業員トレード, 大学生の地域企業へのインターンシッププラットフォームを構築し, 地元企業や学生の交流から地域社会の発展をサポートする。職場に緊張感が生まれる, 仕事の進め方など「当たり前」と思っていたことに新たな発見がある, 会話から新たな刺激を受ける, インターンの場合は大学生に地域企業を知ってもらう機会の創出や就職促進につながる等, 様々な効果生まれる。



④間伐材から生まれた純国産の天然素材の糸や布を使用した繊維ビジネス 山來(SANLAI)を京都から世界へ

株式会社リトゥリバース 奥田 英二

国産間伐材(スギ・ヒノキを主原料)からできた「木糸」や織った生地を使った製品を作り出し, 消費・購入することで, 日本の森林資源の持続可能な成長に寄与できる。林業と繊維業が融合するこの新規事業は, ここ京都から打ち出していき, 日本が誇れるサステナブルな環境の重要性を広めていきたい。



⑤Libertalia Project~京都から世界へ~

office Shin株式会社 増田 秋成

現在SNS等のネット上では, 学生やフリーの方が様々なジャンルで芸術活動をし, 話題になる反面, マネジメントの経験が無いため, トラブルになった事例が多くなっている。クリエイターの営業とマネジメントを担うことで, トラブルを回避でき, 表現の発表場所が確保できることで, 京都を生活のフィールドにして, 芸術活動に取り組めると考えている。



⑥アート・デザインのカ, 才能ある人材の育成による, 地域の価値, 経済価値を創出するプロジェクト

株式会社キャピタル 河野 将之

芸術に親しんでおられる方々の才能ある作品や知識, イベントを地域のお店や施設, コミュニティとマッチングさせ, 地域の活性化や地元の企業の認知度向上を行う。行政区単位で市民, 行政, 事業者, 学生などが集まり, 対話型鑑賞法をアート思考の専門家のファシリテーションのもとに行い, 地域の価値の再発見, 創造, 実行によるイノベーションを起こしていき, その地域の経済価値を高めていく。

⑦ 経験価値を経済性に変えるHUBステーション

まあいいかlaboきょうと 平井 万紀子

各企業にとって、介護者・認知症当人のニーズや望む情報を得ることは、莫大なマーケットになる。また企業は、そのニーズを知る人と結び付くことで、様々なメリットが生まれる。介護者・認知症当人のニーズを知ることで「きっと…」のサービス・モノづくりから、「これがほしい」と直結したサービス等ができる。「まあいいかlaboきょうと」の強みであるネットワークを生かして、人材を育成し、社会復帰・活躍ができるHUBを作り、社会に戻れる人が多く現れる社会を作る。



⑧ みんなのA型事業所～「福祉」という言葉のその先へ～

株式会社MIRISE 小島 拓也

一般企業での就職が難しい障害者等に対して、福祉制度（就労継続支援A型事業）の活用を通じた雇用創出を行う。内容はIT関連の業務提供で、就労意欲のある若年層の就労支援・雇用促進をしていく。「みんなのA型事業所」を実現する事で、A型事業所と一般企業等との間に、「障害」に対する緩衝領域を作り出し、一般企業等への障害者理解・雇用促進にも繋げていきたい。



⑨ 【H30継続提案】ゲストハウスxシェアハウスx介護事業

有限会社山田木工所 山田 正志

働くことが困難で孤立する社会的弱者（障がい者、高齢者、シングルマザー、児童養護施設出身者、難病者、身寄りのない人など）が助け合いながらシェアハウス・グループホームで生活をする。ゲストハウスを隣接し住人（社会的弱者）が働く場所を作る。働くことでお金をもらい、お客様に喜んでもらい、人の役に立ち、人に必要とされることを生き甲斐に感じ、幸せになってもらう。

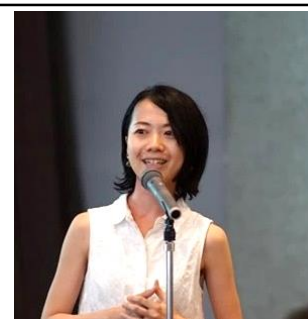


⑩ 職人の手仕事に触れて感性を育む「aeru school」開校！

株式会社和える 田房 夏波

職人の手仕事に五感で触れ、子どもたちの感性を育むワークショップを、企業向けの社員研修・福利厚生として開催する。日本の職人の手仕事に触れる機会を作ることが、子どもたちの想像力・創造力を豊かに育むと信じている。

（例）はがきの型染め体験ワークショップ、
越前和紙のちぎり絵 など



⑪ 漆を21世紀の“当たり前素材”にするための共同体的モノづくり - Community Supported Industry -

一般社団法人パースペクティブ 松山 幸子, 堤 卓也

日本の工芸素材の多くは、植物性素材のものであり、人が生育に関与していけば、循環可能な資源といえる。循環可能な自然素材という「21世紀の当たり前素材」ともいえる「漆」をこの時代だからこそ価値を最大化し、一方で、専門家をつないで日本の漆の生産力を底上げしていくことを目的とする。材料調達に危機感を感じる他の工芸家たちのムーブメントを起こす起点にしたい。



⑫ 【京都市提案】京都から発信する脱炭素社会実現に向けたイノベーションの創出

京都市 環境政策局 地球温暖化対策室

本市では、2050年までの二酸化炭素排出量正味ゼロの達成に向けて、社会貢献ではなくビジネスの視点に立った企業の主体的な行動が不可欠であると考えている。設備機器や建築物の省エネにブレイクスルーをもたらすなどの技術的なイノベーションのみならず、ライフスタイルやまちづくりの転換を促す社会的なイノベーションについても広く議論し、新たな制度の創設やモデル事業の実施などにつなげていきたい。



地域の仕事や生き方を知る、職業体験のツアーを実施する。

【社会科とは】身のまわりの仕事や産業、歴史について学習しながら、広い視野に立って考察する力を養う科目。大人になったとき、社会でどう生きていくかを考えるためのヒントを学ぶこと。これまで、里山、田舎暮らし、木育、バイオマスをテーマに、大人向け、木育・バイオマス実践者向けを、実施している。

第2部 交流会

会議終了後、議論の時間では共有できなかった話や今後の可能性について、さらに深めていただきました。アイデアの具体化や異業種交流の場として、多くの皆様に御参加いただきました。



～市長・顧問からの挨拶～

門川 大作 京都市長



未来力会議は、まさにスタートアップ、新たな取組が始まる場である。地域企業がアイデアを出し、行動することで、京都から日本、世界を変えられる。そのエネルギー、知恵がこの場にはある。

渡邊 隆夫 京都府中小企業団体中央会会長



会議を通じて得た、新たな視点や切り口から、業種を越えて、アイデアの具体化や連携を見据えて活動してほしい。

●お知らせ●

■「京都・地域企業応援会」の開設

未来力会議でのアイデアは勿論、市内の地域企業の皆様のアイデアの具体化に向けた活動を支援する「地域企業応援会」を月1～2回開催しております。

以下、WEBサイトから予約可能ですので、是非御確認ください！

<https://community-based-companies.kyoto/ouenkai>

●今後の予定●

■ 第3回地域企業未来力会議 : 3月開催予定

※日時や場所は、後日お知らせします

●アンケートにお寄せいただいた御意見・御感想等●

- ・発表いただいたアイデアに協力できればと思います。
- ・意見交換の時間がもう少しあれば良いと思いました。
- ・普段知り合わない業種の方と出会い、刺激や新たな発想が生まれました。 等



QRコード